

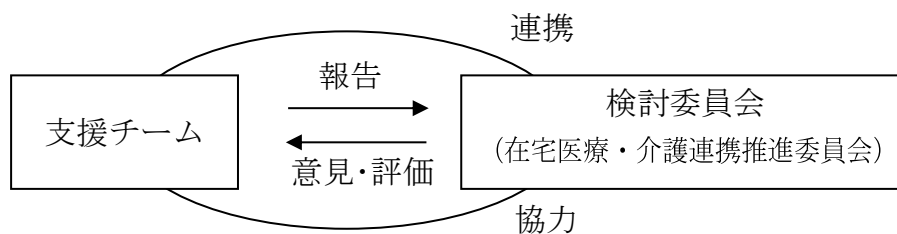
認知症初期集中支援チームの活動状況等について

1 在宅医療・介護連携推進委員会と認知症初期集中支援チームの関係

国の地域支援事業実施要綱により、市町村は、認知症初期集中支援チーム（以下「支援チーム」という。）を設置するとともに、医療・保健・福祉に携わる関係者等で構成する「認知症初期集中支援チーム検討委員会（以下「検討委員会」という。）」を設置し、支援チームの活動について検討・評価することとされている。

こうした中、本市では、平成29年度から、加須市在宅医療・介護連携推進委員会が検討委員会を兼ね、支援チームの活動について検討・評価することとしている。

《初期集中支援チームと検討委員会の関係》



2 検討委員会における主な検討内容

- (1) 認知症の早期診断、早期対応に向けて何が課題か。
- (2) 初期の認知症の人々のニーズと、これを受け止められる資源はあるか。
など

3 支援チームの実施体制等

(1) 支援チームの活動目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族にチームとして早期に関わることによって、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

(2) 支援チームの役割

医療と介護の複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人（以下「支援対象者」という。）及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う。

- (3) 支援チームの構成員（以下「チーム員」という。） 14人
- ア 認知症の専門医 1人
 - イ 北埼玉在宅医療連携室に所属する専門職 1人
 - ウ 各高齢者相談センターに所属する医療系又は介護系の専門職 12人

(4) チーム員の役割

ア 専門医の役割

他のチーム員をバックアップし、専門的見識から指導・助言等を行う。
また、必要に応じてチーム員の訪問に同行し、相談に対応する。

イ その他のチーム員の役割

支援対象者へ初期集中支援を行うための訪問活動等を行う。

(5) 支援チームの活動エリア

市内全域を活動エリアとし、支援対象者の居住地区を担当する高齢者相談センターのチーム員が、支援対象者のケースに主体的に関わる「地域担当制」を採用する。

4 令和2年度における支援チームの活動実績及び自己評価

(1) 支援チームが関与したケース数 7件

(2) 支援チームの自己評価（平成30年度全国平均値との比較から）

	対象者数 (年間)	初動 日数	支援 日数	DASC 変化	DBD 変化	医/介 引継
全国の 平均	13.4	19.84	108.84	2.31	0.98	0.76
加須市 平均	7.0	6.0	79.4	—	—	0.60

※上表の評価項目の考え方（国立長寿医療研究センター）

評価項目	考え方
対象者数	支援対象者数の値（6箇月実績）を年間に置き換えた数
初動日数	各対象者の「把握日」から「初回訪問日」までの平均所要日数
支援日数	各対象者の「初回訪問日」から「支援終了日」までの平均所要日数
DASC 変化	各対象者の終了時と介入時の DASC のスコアの差を平均した数
DBD 変化	各対象者の終了時と介入時の DBD13 のスコアの差を平均した数
医/介引継	各対象者の受診・サービス利用それぞれの有無を「あり」を1、「なし」を0として、終了時と介入時の差を平均した数

国立長寿医療研究センターが示した方法により自己評価した結果は、次のとおり。

- ① 支援チームが関与した対象者数は、平成30年度全国平均より少ないが、下表のとおり、各高齢者相談センターにおいて、認知症に関する相談支援を相当数行っており、全体としては、認知症に関する困り事に対応できているのではないかと考えられる。

〔参考〕令和2年度に高齢者相談センターが受け付けた認知症相談件数（単位：件）

加須・大桑・水深	不動岡礼志・羽多見	三俣・樋遣川・大越	騎西	北川辺	大利根	合計
42	38	15	17	77	21	210

- ② 初動日数の平均は、平成30年度全国平均より大幅に少なくなっており、対象者の把握後、迅速に対応できたと言える。高齢者相談センターの職員がチーム員を兼ねていることも影響していると考えられる。
- ③ 支援日数については、全国平均より少ない日数となったが、支援対象者の認知症の状態や家族等が協力的であるかどうかなど、環境面に左右されるところが大きいため、支援日数については参考程度としてよいのではないかと考えられる。
- ④ DASC（認知機能と生活機能を網羅的に評価するアセスメントシート）及びDBD（認知症に伴う行動面での様々な異常を観察することによって評価する尺度）のスコアについて、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により支援終了時のスコアを把握することができなかつたため、評価を実施できなかった。
- ⑤ 介入時に認知症受診・サービス利用ともに「あり」であった1件及び支援対象者の死亡により支援終了となった1件を除く5件のうち3件（60％）で、支援チームの支援により医療・介護サービスにつながることができたが、国及び市の目標値には至らなかった。

〔参考〕認知症初期集中支援チームの活動に関する目標値

（国）認知症施策推進大綱

医療・介護サービスにつながった者の割合 65%

（市）第4次加須市高齢者支援計画

認知症初期集中支援チームによる支援によって、

医療・介護サービスにつながった人の割合 100%